



DOCOMO TEAM DANDELION RACING

Team Release

予選レポート

2017/10/21 Rd-7 鈴鹿サーキット

天候：雨 気温：17°C 出走台数：19台

2017全日本スーパーフォーミュラ選手権の最終戦「第16回JAF鈴鹿グランプリ」。スーパーフォーミュラ最終戦として4年目を迎える今回も、恒例の2レース制で開催されるため、ノックアウト第1予選の順位で決勝レース1のスタートグリッドを決め、その後ノックアウト第2、第3予選を経た最終予選結果で決勝レース2のグリッドが決定される。台風の影響による大雨の中開始された決勝レース1のグリッドを決めるノックアウト第1予選。午前中のフリー走行を、伊沢選手1位、野尻選手2位の1-2で終えたDOCOMO TEAM DANDELION RACINGの2台は、豪雨の中慎重にコースインしたが、荒天のため開始3分で1度目の赤旗中断。天候回復を待ち42分の中断の後予選再開されたが、開始早々に1コーナーでコースアウト車両が発生し再びの赤旗中断。14:50に残り14分13秒で予選は再開されるが、野尻選手、伊沢選手ともにセクターベストを更新するアタック中にまたもやコースアウト車両により3度目の赤旗中断となる。残り時間8分37秒で雨量が多くなる中予選再開され、野尻選手はアタック1度目で2番手。伊沢選手は10番手。続いて2度目のアタックラップに入った時、1コーナーでまたしてもコースアウト車両があり赤旗中断。そのまま第1予選が終了した。本来ならば続いて第2予選が開催されるが、荒天のため第1予選すべての予選が終了となる。この場合、第1予選ベストタイムで決勝レース1のスタートグリッドが、第1予選セカンドベストタイムで決勝レース2のスタートグリッドが決定となり、第1レースは、野尻選手2番手、伊沢選手10番手。第2レースは野尻選手2番手、伊沢選手3番手からのスタートとなった。

40：野尻選手 決勝レース1 予選2位、決勝レース2 予選2位

チームのピット戦略（コースインのタイミング）が良かった。刻々と変わるコンディションの中で、何時どうやってタイムを刻んでいくのか、自分自身の勝負強さを感じることが出来ましたが、6/100秒差でポールをとれなかった部分は、まだ成長しなければ感じています。

明日も雨の難しいコンディションとなりますが、二つのレースを優勝で終えたいです！

41：伊沢選手 決勝レース1 予選10位、決勝レース2 予選3位

朝のフリー走行から調子はよく、予選も自信持って臨みましたが、難しいコンディションの中赤旗中断が多く、不完全燃焼で終える事になりました。セカンドベストタイムを出すタイミングもなかっただし、そこまで考える余裕もなかっただので、決勝第2レースの予選結果が3位と聞き、予想外で驚きました。明日はさらに台風の影響が大きくなると思いますが、無事にレースができるよう願っています。